## ５つの森林活動

みなさまの参加を
お待ちしております

**小手澤の森**

**第１・３日曜日**

**知足の森**

**第１・３日曜日**

**相模湖・嵐山の森**
**小原本陣の森**
**草莽荘の森**
**不定期活動**

# News Letter

# NPO法人緑のダム北相模
# midorinodam.jp

**No.570-571**
かなりの急斜面です（先月の続き）

## 【定例活動報告】知足の森

10月の定例活動では、知足の森では通常の間伐を行いました。斜面のかなり上部の活動になり、かつ、細めのものですが間伐材を、後述します活用のため、３０～４０本林外に出す、という活動を行いました。参加した中学生の感想からご紹介します。表紙写真は少し誇張がありますが、実際の様子は次のページの右上写真になります。

今日はヒノキの間伐を行いました。僕たちの班は森の中でも特に木が入り組んでいる奥の方へ行き、間伐する木を選びました。その木は普段切っている木や周りにある木よりも細かったため、木を切るための切り込みはすぐに入りました。簡単に倒せると考えていましたが、全力でロープを引っ

緑のダム北相模は相模原市内で活動する森林ボランティアです。急がず、無理せず、楽しく、休まず、 ボチボチと・・。

張っても少し揺れる程度でなかなか倒れませんでした。最後にみんなで力を合わせて、なんとか倒れたと思いきや、思った方向とは全く違う方に倒れてしまいました。そのため、木を森の中の開けた場所まで引きずって持っていき、その後枝をはらいました。木は1.5mの長さに切り、合計4本運びました。

今日は10月にもかかわらず、かなりの暑さの中、急斜面で活動をしたため、体力を奪われ、たくさん汗をかきました。でも下まで木を運び終えた時は、大きな達成感がありました。

次回、木を倒す時は、もっと力を入れてロープを引っ張ることができるようにしたいと思います。

GREEN TECH
ENGINEER LAB
中学１年生男子

今日は檜の木を切りました。僕たちの班は太めの真ん中の木を切りました。最初、受け口を作る時、角度が大きかったり、小さかったり、調整するのが大変だったけど結果的にちょうどいい受け口を作れたので、とても嬉しかったです。その後に、追い口を切って倒しましたが他の木に引っかかってしまったのでみんなで協力して横に寝かせました。その時は初めて池木を切ったので達成感で満たされました。そのあと、他の班の木をロープで倒しました。なかなか倒せなかったけれど、あきらめないで倒して良かったと思いました。休憩をとったのち、後半の切った木を運ぶ作業をしました。これは2人でやる作業ですが、1人でやった方がはかどるなと思いました。なぜなら、2人でスリングを使ってやるより1人で担いで行く方が時間も人員も節約になると思ったからです。でも、2人でやるのは安全性などの問題があるのかなと納得しました。最後にトンネルの先に置いてある大きい木をトラックに運びました。その木は重くて本当にチームワークが試される時で、10人で協力して運ぶような大きい木もあったけど最後まで運びきれました。途中、なかなか進まずに、愚痴を言うようなところはあったけれど、みんなで協力して1人ではできないことをするのは楽しいな、と思いました。　次は、もっと最初から切り倒す方向を考えて、ロープで補正する回数が少なくなるようにした方がいいと思った。

GREEN TECH ENGINEER LAB 中学１年生男子

# 桜井尚武の森のコラム

## 「オトコヨウゾメ（*Viburnum phlebotrichum*）」

図1 株立ちのオトコヨウゾメ

20190328皇居東御苑

図2 オトコヨウゾメの花

20100604軽井沢

図3 オトコヨウゾメの赤い果実

20211023青梅丘陵雷電山

図4 晩秋のオトコヨウゾメ

20221106麻生山日出山

スイカズラ科ガマズミ属の樹高3m程度になる叢生しやすい落葉低木(図1)。日本特産種で本州、四国、九州の山地に普通。葉は対生し広卵形で先端がやや細長くなって終わります。この形が、不揃いの鋸歯とともに他のガマズミ属と見分ける際の特徴です（図2、3）。花はガマズミなどとは異なり散房形でやや細く長い花柄の先に白色、或いは少しピンクがかった5裂の花弁を一つづつ付けて結構見ごたえがあります（図2）。果実は小豆（あずき）の実位の大きさと形で秋に赤く熟しますが、他のガマズミ類に比べると美味しくないというのが私の感想です（図3）。でも霜に当たると甘みが出てくると言います。

晩秋の葉は黒みがかった赤紫になり、低木層の中ではかなり目立ちます（図4）。夏季の緑の葉を摘んで野帳や雑誌に挟んで押し葉にすると黒変しますからこの種の同定に役立ちます。

同属のガマズミ(*V. dilatatum*) を私は子どもの頃ヨツズミと呼んでおやつ代わりにしていましたが、本州中部地方ではイヨゾメ、ヨソゾメ、ヨンゾメ、ヨウゾメ等という地方名が収集されています。ガマズミの実は比較的甘酸っぱくて量があるので食べて楽しむ文化があるのですが、オトコヨウゾメは味がよくなく量も取れないので直接の味わい文化には採用されなかったようです。食べないという意味使われるオトコという語とガマズミ類の実に似ている所から来たヨウゾメという語の組み合わせでこの名前になったという見解が多いですが、でも、果実酒にすると美味しいのができるそうです。

桜井　尚武（本会、会員）

## 【GREEN TECH ENGINEER LABの活動から】

森の活動と並行して行なっております学芸大のExplayground事業、GTEラボですが、ついにクラウドファンディングで購入したShopbotが稼働を始めました。副理事長の

宮村をはじめ大人数人で試運転をし、できること（加工できるパターン）が増えております。来月、エコプロ準備終了あたりから実際に中学生が作業する見込みとなっております。間伐材を自由に加工できるため、制作物の幅が飛躍的に向上するのではないかと期待しております。前ページの写真はすでに中学生が体験で彫ったものです。左の写真のブラシの中にビット（ドリルの刃）があり動いていきます。

　またここ何回かの活動の間伐材は井の頭自然文化園のリス園に使われております。すでに繁殖棟に設置され、皮をかじって巣材を作っているそうです。いずれ来園者も歩いて入れる飼育棟にも設置されると思いますので、吉祥寺へお越しの際は是非ご覧ください。またこれをきっかけに他の小型哺乳類のゲージでも使う枝なども欲しいということで、園の飼育担当の方がイメージスケッチをして、それに合わせて切って運び込むということもありそうです。

　12月5日より３日間は郵送ニュースレターの方には同封させていただいたエコプロダクツ展2022にも出展いたします。恒例の制作物展示と活動紹介ビデオが中心となりますが、ぜひ来場登録の上お越しください。現地でも登録できますが事前の方がスムーズとなります。出展予定としましてはJF（学校ロッカー什器）、公民館寄付、市役所（市内公園案内板サンプル）、大学図書館サインボード、DBJ（クラファン返礼品サンプルや小金井市環境賞表彰状サンプル）に加え、クラファン関係展示、木育ガールキキちゃん関係展示、とこれらの活動紹介映像となります。ぜひ当日現地でお待ちしております。

宮村　連理（本会、副理事長）

## 参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴　成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

## 危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランテイア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

## NPO法人
## 緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人　緑のダム北相模
現地事務局：〒252-0172　相模原市緑区与瀬本町12　かどや食堂内
支援団体：セブン-イレブン記念財団
　　積水ハウスマッチングプログラム、国土緑化推進機構
　　コンサベーション・アライアンス・ジャパン
協働団体：神奈川県、相模原市、麻布大学、マルモ出版、
　　東京学芸大学環境教育研究センター、
　　（社）東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構、
　　（社）さがみ湖 森・モノづくり研究所、ウッドバンク㈱

緑の募金　一般財団法人 セブン-イレブン 記念財団　SEKISUI HOUSE MATCHING PROGRAM　CAJ Conservation Alliance Japan 一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン